

～豊かで安全な流域未来をつくる会～

「沙流川」 ニュースレター vol. 28

豊かな川と親しみ学ぶ 2012 沙流川親子教室 が開催されました！ 2012. 8. 4

豊かで安全な沙流川流域未来をつくる会の住民部会では、本年度も財団法人河川環境管理財団の河川整備基金助成を受けて、流域住民の豊かで安全な流域未来づくりの活動を行っています。

昨年好評だった、沙流川流域の未来を担う子どもたちを対象とした沙流川の体験学習を、今年も実施しました。子どもたちとその保護者計 17 名の参加者は、川原の植物を使う遊びや炭火焼きでの昼食、沙流川の川遊び体験を行いました。

日 時：平成 24 年 8 月 4 日（土）

10:30～15:30

場 所：国立日高青少年自然の家周辺

参加者：日高町・札幌市で暮らす親子（17名）

講師・つくる会会員・支援スタッフ（16名）

主 催：豊かで安全な沙流川流域未来をつくる会
住民部会

後 援：日高町、平取町、財団法人河川環境管理財団、
国立日高青少年自然の家、
NPO 法人沙流川愛クラブ、
NPO 法人環境防災研究機構北海道

プログラム

① 川遊びの前に

～ヘルメットとライフジャケットの装着～

◆ 先生：国立日高青少年自然の家 スタッフ

② 川原の植物を使って遊ぼう

◆ 先生：植物研究家・沙流川愛クラブ 副会長
高橋 誼 先生

③ 昼食

～炭火で魚や野菜を焼いて食べよう～

④ 沙流川に入って体験学習

○ボディアフティング

◆ 先生：国立日高青少年自然の家 スタッフ

○川底の生き物探し

◆ 先生：住民部会員・支援部会員など



午前の部

初めに国立日高青少年自然の家（以下「国少」と表記）スタッフの方から、ヘルメットとライフジャケットの正しい装着の仕方を教わりました。万が一の時に命を助けてくれる大事な装備について、子どもたちもみな真剣に説明を聞き、しっかりと装着していました。

次は沙流川に移動して、日高町在住の植物研究家 高橋誼先生から、植物の由来や特徴などを教えてもらいながら、川原に生えている植物で遊びました。子どもたちは先生の説明をしっかりと聞いて、イタドリや笹舟、ヨシコブターなどを作って遊びながら植物について学びました。

スタッフや大人の参加者も、子どもたちに手を貸したり植物で作ったおもちゃと一緒に操ったりして、ともに楽しい時間を過ごしました。



 昼食

昼食は、平取町紫雲古津の『くろべこ』さんからご提供いただいたらとり和牛と野菜を炭火で焼いて、『国少』さんにご用意いただいたおにぎりと一緒に食べました。子どもたちから「BBQは、よく家でやるんだよ！」などの話も出て、世代を超えてワイワイお話ししながらのお昼ごはんは、とてもにぎやかで楽しい時間になりました。


 午後の部

ご飯を食べた後は、川に入って体験学習を行いました。

まず、ライフジャケットとヘルメットを再装着して、国少スタッフの方に川での流れ方を教えていただきました。体を寝かせるようにして足の方から流れると、岩などの障害物をよけやすいことなどを学習してから、沙流川で実際に流れてみました。川の流量は多くなかったのですが、子どもたちは体の向きをコントロールするのが少し難しかった様子で、歓声をあげて何度も挑戦していました。

その後は、アクアスコープで川底を覗きながら川の生き物を探しました。捕まえたのはヤマベやシマドジョウ、ニジマスの稚魚など。時間を忘れて夢になっている子どもたちの姿が印象的でした。

最後はライフジャケットとヘルメットを、各自、自分の手で水道水で洗って片づけました。

たくさんの事を体験することができて、良い学習会となったようです。



沙流川親子教室を終えて

元気な子が多かった今年の親子教室ですが、川に入るときは皆、大人の言うことをしっかりと守り、安全に体験学習ができました。

最後の挨拶では国立日高青少年自然の家の古屋事務局長さんが、川の豊かさと流水の強さ・怖さを知ることが大事であると話して下さいました。参加した子どもたちは、自分の力で多くの事を体験し学んだことと思います。

多くの皆様の、温かいご支援とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



←無事修了した子どもたちは
“沙流川キッズ認定証”を受け取りました！



ニュースレターや取組みに関するお問い合わせ先



豊かで安全な沙流川流域未来をつくる会 事務局

特定非営利活動法人環境防災研究機構北海道 内

〒060-0062 札幌市中央区北1条西8丁目2-39 日宝大通ビル

Tel. 011-271-2663 Fax. 011-204-7367 URL : <http://www.cemihokkaido.com/>